

株主の皆様へ

## 第132期 中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

### 株主の皆様へ

平素は格別のご支援とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
ここに第132期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況等について、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が世界的に進む一方で、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰や、中国のゼロコロナ政策堅持による行動制限の影響により中国国内での景気鈍化がみられました。また、米国の政策金利上昇による日米金利差の拡大により、急速に円安ドル高が進行しました。

当社グループは、このような経営環境の中、「プラスチックの可能性を広げ、お客様の価値創造を通じて、『未来に夢を提供する会社』をビジョンとし、「SDGsに則し、機能性化学分野で『ニッチ&トップシェア』を実現、事業規模の拡大を図る」を基本方針に掲げて、変化する社会のニーズや課題の解決に貢献することで持続可能な社会の実現を目指して事業運営に取り組んでまいりました。

このような情勢のもと、当第2四半期連結累計期間の売上収益は、円安為替評価による海外売上の増加に加え、原料価格上昇に対応して製品価格改定を行った結果、前年同期比11.8%増加し1,434億70百万円となりました。損益につきましては、高機

能プラスチックセグメントでの販売数量減による収益悪化が足かせとなり、事業利益\*は、前年同期比7.4%減少し126億57百万円、営業利益は、前年同期比7.7%減少し124億82百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比10.2%減少し92億30百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき60円（前期の中間配当金に比べ10円の増配）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

\* 当社グループでは、持続的成長を図るため管理すべき重要な指標のひとつとして「事業利益」という段階利益を導入しております。「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」と「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。



2022年11月  
代表取締役社長 藤原一彦

### 決算ハイライト

売上収益

1,434億70百万円  
前年同期比 11.8%増 ↗

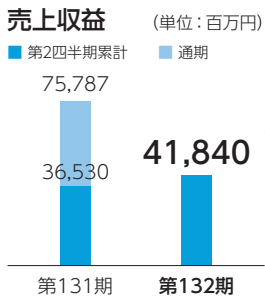
事業利益

126億57百万円  
前年同期比 7.4%減 ↘

親会社の所有者に帰属する四半期利益

92億30百万円  
前年同期比 10.2%減 ↘

### 半導体関連材料部門

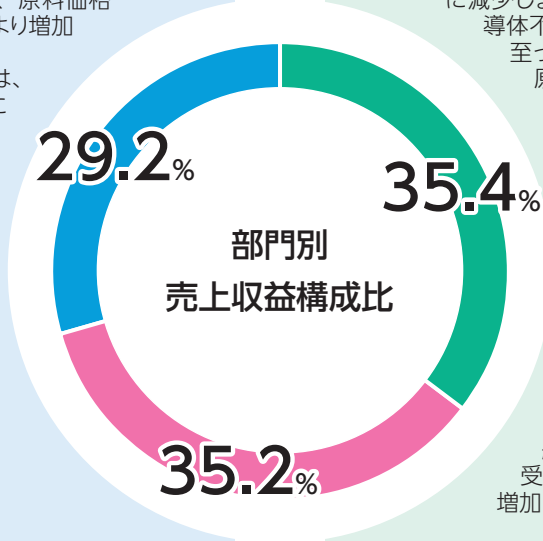


主力の半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、前年度好調だったパソコンや中国製スマートフォンなど民生用の需要が反落し、在庫調整局面に入ったことから、販売数量は若干減少しました。売上収益は、原料価格上昇に伴う価格改定と円安の影響により増加しました。

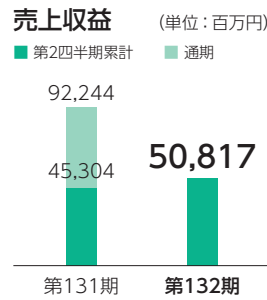
感光性ウェハコート用液状樹脂は、主要用途であるメモリー需要が好調に持続し、売上収益は大幅に増加しました。

半導体用ダイボンディングペーストは、顧客での在庫調整により、売上収益は前年同期並みで推移しました。

半導体パッケージ基板材料「LαZ®」シリーズは、中国市場のスマートフォン需要が低迷したことで、売上収益は減少しました。



### 高機能プラスチック部門



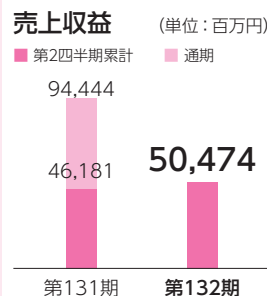
工業用フェノール樹脂およびフェノール樹脂成形材料は、中国での新型コロナウイルス感染再拡大による経済環境悪化の影響で、電子・電機部品向けの販売数量は大幅に減少しました。自動車部品向けの販売も、半導体不足による減産状況が解消されるまでに至っておらず、販売数量は減少しました。

原料価格上昇に対応して製品価格の改定に努めたこと、急速な円安が進行したことにより、売上収益は増加しましたが、販売数量の減少分をカバーできず、事業利益は前年同期を大きく下回りました。

銅張積層板は、車載向けの販売数量は減少しましたが、エアコン用、LED照明用基板の販売好調と円安効果により、売上収益は増加しました。

航空機内装部品は、航空旅客輸送量の回復を背景に、販売数量は増加しました。また、主要顧客が米国航空機メーカーのため、円安の影響を受けて、売上収益は前年同期より大幅に増加しました。

### クオリティオブライフ関連製品部門



医療機器製品は、国内市場向けは主力の生理食塩液の需要減で販売実績は前年同期並みでしたが、北米向けの採血キット、アジア向けの血液バッグなど輸出版売が好調なことに加え、北米の製造拠点での販売も好調に推移し、売上収益は大幅に増加しました。

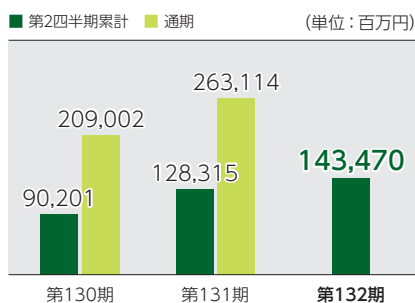
バイオ関連製品は、一般バイオ器材に対する国内需要が一服しましたが、輸出は好調で、売上収益は前年同期水準を維持しました。ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医薬品包装用途はジェネリック医薬品向けが好調を継続し、食品包装用途は肉製品用スキンパック向けの販売が好調で、売上収益は増加しました。

ポリカーボネート樹脂板および塩化ビニル樹脂板は、E V用絶縁材や車載用途など新規開発用途は順調に増加しましたが、基盤製品の店舗用サイン・ディスプレイ、建材用途は需要回復遅れにより、売上収益は横ばいでした。

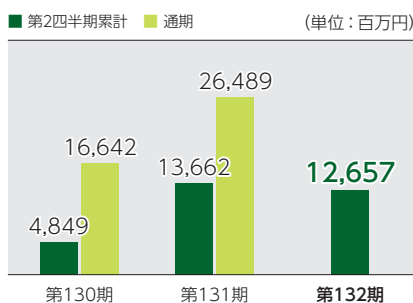
防水関連製品は、新築住宅向け屋根防水工事および蓄熱層断熱防水工事が好調を継続し、売上収益は増加しました。

## 連結業績ハイライト

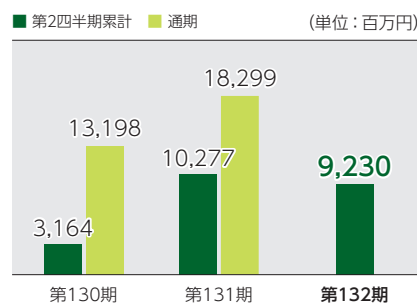
### ● 売上収益



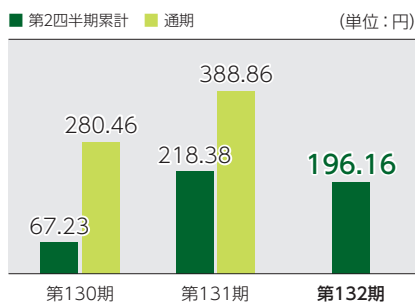
### ● 事業利益



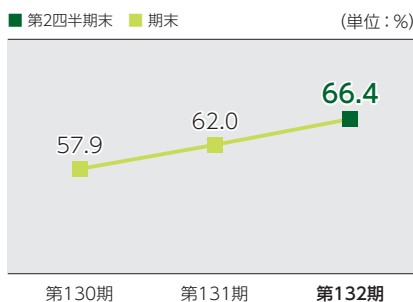
### ● 親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益



### ● 基本的1株当たり四半期(当期)利益



### ● 親会社所有者帰属持分比率



## 財務状況

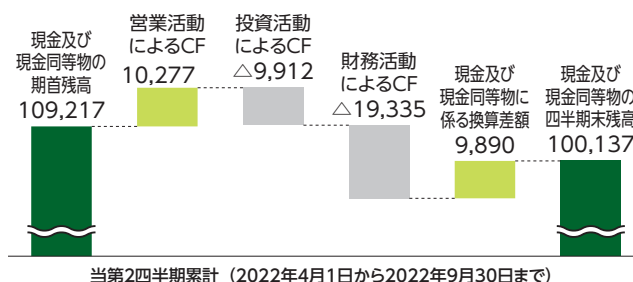
### ● 連結財政状態計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期末 (2022年3月31日現在)	当第2四半期末 (2022年9月30日現在)
<b>資産</b>		
流動資産	223,291	227,392
非流動資産	147,546	155,002
<b>資産合計</b>	<b>370,836</b>	<b>382,394</b>
<b>負債</b>		
流動負債	97,110	85,387
非流動負債	41,591	40,910
<b>負債合計</b>	<b>138,701</b>	<b>126,298</b>
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分	229,784	253,777
非支配持分	2,352	2,319
<b>資本合計</b>	<b>232,136</b>	<b>256,096</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>370,836</b>	<b>382,394</b>

### ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)



### ● 連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期累計 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期累計 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上収益	128,315	143,470
売上原価	△ 88,220	△ 102,502
売上総利益	40,096	40,967
販売費及び一般管理費	△ 26,433	△ 28,310
事業利益	13,662	12,657
その他の収益	64	116
その他の費用	△ 205	△ 291
営業利益	13,522	12,482
金融収益	596	833
金融費用	△ 160	△ 837
税引前四半期利益	13,957	12,479
法人所得税費用	△ 3,509	△ 3,056
四半期利益	10,448	9,422
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	10,277	9,230
非支配持分	171	192
四半期利益	10,448	9,422

## 会社概要 (2022年9月30日現在)

設立	1932年1月25日
資本金	37,143,093,785円
従業員数	8,181名 (連結)

## 株式情報 (2022年9月30日現在)

株式の種類	普通株式
単元株式数	100株
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	49,590,478株
株主数	11,325名 (うち単元株主数7,924名)

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友化学株式会社	10,509	22.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,911	16.81
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,053	6.49
株式会社かんぽ生命保険	1,225	2.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,073	2.28
株式会社日本カストディ銀行・三井住友信託 退給口	873	1.86
株式会社三井住友銀行	872	1.85
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 500 HKMPF 10PCT POOL	582	1.24
住友生命保険相互会社	523	1.11
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	500	1.06

(注) 1. 当社は自己株式2,535千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

## 役員 (2022年9月30日現在)

### 取締役および監査役

代表取締役社長	藤原 彦
代表取締役	稲垣 幸
取締役	朝隈 俊
取締役	中村 隆
取締役	小倉 孝
取締役	小倉 介
社外取締役	阿部 之
社外取締役	松田 雄
社外取締役	永島 津
常勤監査役	寺沢 夫
常勤監査役	青木 重
社外監査役	山岸 彦
社外監査役	川手 典

### 執行役員

社長執行役員	藤原 彦
副社長執行役員	稲垣 幸
副社長執行役員	朝隈 俊
専務執行役員	中村 隆
常務執行役員	小倉 孝
常務執行役員	小倉 介
常務執行役員	桑木 剛
常務執行役員	文田 一
常務執行役員	竹崎 義
常務執行役員	指田 暢
常務執行役員	鈴木 幸
常務執行役員	鍛治 真
執行役員	アレックス ゲスケン
執行役員	藤村 宜
執行役員	田中西 久
執行役員	中金 敏
執行役員	平井 俊

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会：毎年3月31日  
期末配当金：毎年3月31日  
中間配当金：毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法 電子公告により行います。  
<http://www.sumibe.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

## お知らせ

- 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について**  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会につきましては、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
- 除斥期間満了後のお取り扱いについて**  
配当金は、支払開始の日から満3年（除斥期間）を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。
- 特別口座について**  
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についての住所変更等のお届出およびご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

 住友ベークライト株式会社

東京都品川区東品川二丁目5番8号

ホームページ <https://www.sumibe.co.jp>



レスポンシブル・ケア®

